

## 動的サンプリング（オブジェクトの統計情報）

### Select 文実行時に統計情報を動的取得するためのサンプリング指定

Oracle は、Select 文の実行計画作成のための解析時に、オプティマイザがオブジェクトの統計情報を元に実行計画を作成します

このときに、オブジェクトに統計情報が存在しないと、自動的に一部のレコードを動的にサンプリングして、**オブジェクトの統計情報を取得**します

また、統計情報があるオブジェクトに対しても、明示して**手動で動的サンプリング**を行わせて**オブジェクトの統計情報を取得**してから、実行計画を作成させることも可能です

### 手動で動的サンプリングを行わせる方法

#### セッション・レベル

```
ALTER SESSION set OPTIMIZER_DYNAMIC_SAMPLING = n ;
```

n は、サンプリング・レベル 0, 1, 2, . . . , 10

レベル 0： 動的サンプルは実行されない

レベル 1： 64 ブロックをサンプリング（デフォルト）

使用例)

```
ALTER SESSION set OPTIMIZER_DYNAMIC_SAMPLING = 4 ;
```

#### SQL 文レベル

```
SELECT /*+ DYNAMIC_SAMPLING ( 表名 n ) */
```

n は、サンプリング・レベル 0, 1, 2, . . . , 10

レベル 0： 動的サンプルは実行されない

レベル 1： 64 ブロックをサンプリング（デフォルト）

使用例)

```
Select /*+ DYNAMIC_SAMPLING (emp 64) */ ename From emp;
```

### 初期化パラメータ

```
show parameter OPTIMIZER_DYNAMIC_SAMPLING
```

NAME	TYPE	VALUE
optimizer_dynamic_sampling	integer	2